

《資料 》

建ぺい率許可申請時の必要書類

	図書の種類	明示すべき事項	必要書類 (印のもの)	
			事前 協議	申請 時
1	事前協議書	・ 様式 1		
2	許可申請書	・ 規則別記 第 4 3 号様式		
3	許可を受けようとする理由書	・ 許可を受けようとする理由を詳細に記入する。		
4	土地の地籍図の写し	・ 里道（赤色）、水路（水色）、堤塘敷（茶色）にて着色。		
5	土地登記簿謄本			
6	隣地境界線と壁面線等との間の空地の維持管理	・ 壁面線指定時の隣地境界線と壁面線等との間の空地の管理規約(案)、建築協定書（案）		
7	付近見取り図 1	・ 方位、道路、目標となる地物を記入し、都市計画で定められた用途地域を着色する。 ・ 縮尺 1/10,000		
8	街区配置図	・ 本申請の計画を反映させて作成。 ・ 縮尺、方位、各敷地境界線（赤色着色）、街区における建築物の位置、用途、構造及び階数、壁面線（境界線からの後退寸法を記入のうえ青色着色）、街区に接する道路等の位置、名称及び幅員（幅員 4m 未満の場合は、後退線を記入）を記入。 ・ 街区の大きさに合わせた縮尺にて作成。		
9	動線計画図	・ 災害時の各敷地の避難経路とその幅員、緊急車両進入動線を記入。		
10	配置図	・ 縮尺、方位、建築物の位置寸法、用途、構造、敷地内土地利用、敷地の境界線（赤色）、緑地（緑色着色）、塀等の構造物 ・ 壁面線（青色）、前面道路等からの後退線 ・ 敷地に接する道路又は法第 4 3 条ただし書空地の位置、名称、幅員		

		<ul style="list-style-type: none"> 排水計画（雨水「水」、汚水「茶」、雑排水「青」で着色）を表示し、敷地外への放流先を記入。 都市計画施設、用途地域境界等がある場合は表示。 隣地境界線と壁面線等との間の空地の仕上げを表記。 様式 A、様式 B による標識の設置位置を表記。 		
11	各階平面図	<ul style="list-style-type: none"> 各室の用途、面積、主要部分の寸法、方位 壁面線、隣地境界線からの後退距離 		
12	立面図	<ul style="list-style-type: none"> 開口部の位置及び壁、屋根、軒裏の構造、仕上げ 地盤面からの高さ 10 mライン 壁面線、隣地境界線からの後退距離 		
13	断面図	<ul style="list-style-type: none"> 軒及び庇の出、屋根、天井、外壁、内壁及び床の仕上げ材料 地盤面からの高さ 10 mライン 壁面線、隣地境界線からの後退距離 		
14	現況写真	<ul style="list-style-type: none"> 申請地、壁面線の指定を受けた部分、前面道路、街区全体の様子を撮影したもの。 		
15	その他			